

首里杜地区整備基本計画策定に向けた 地域アンケート結果（概要版）

1. アンケートの結果概要（まとめ）
2. 住民アンケート
3. 学校アンケート

1. アンケート結果の概要

(1) 交通環境について

【住民アンケート】 P7～9

- 交通量の感じ方については、コロナ禍以後に「適正またはそれより少ない」が過半数。(P7)
- 地区における交通の問題については、「朝夕の交通渋滞」が最多。(P8)
- 導入したい新たな交通サービスは、「主要道路をルートとした路線型」の希望が最多。(P9)

【学校アンケート】 P16

- 歩いて通学しやすい環境で望ましいものは、「歩道、信号などの安全な交通施設の確保」が最多。

【参考：地域意見交換会10/13】 参考資料①P46

- 狭隘な道路について、安全確保のため、一方通行化や無電柱化などについても検討してほしい。

(2) 景観・文化について

【住民アンケート】 P9～10

- 首里で活かしたい文化資源は、「石畳、拝所・御嶽、祭り・行催事」が上位。(P9)
- 首里らしさや文化資源を受け継ぐ対策では、「文化資源の保護・維持制度の充実」関連項目が多い。(P10)
- 首里らしい景観を守るためのルールについて、回答者の90%が、「何らかのルールがあったほうがよい」と答えた。(P10)

1. アンケート結果の概要

(3) クロス分析から見たこと

【住民アンケート】 P7～8

- 交通量の感じ方については、A-1エリア（池端、真和志）で「コロナ禍以前に交通量が多すぎて迷惑」の回答が他のエリアに比べ多い。(P7)
- 交通の問題については、全エリアで「朝夕の交通渋滞」が多いが、エリア別の特徴としてはA-1エリア（池端、真和志）で「観光車両による交通渋滞」、Cエリア（赤田、崎山、鳥堀）で「歩行空間がない・狭い」「レンタカー等の生活道路への侵入」が多い。(P8)

(4) 住民アンケートと学校アンケートの比較

交通に関して、住民アンケートと学校アンケートの世代の違いによる回答を比較した。

- 交通量の感じ方については、「コロナ禍以降で適正またはそれより少ない」との回答が学校アンケート（23%）と住民アンケート（61%）で差が大きい。(P7、P13)
- 交通の問題については、両アンケートで「朝夕の交通渋滞、歩行空間がない・狭い」の回答が共通して多いが、「観光に起因する交通渋滞や生活道路への侵入」に関しては、住民アンケートに比べ学校アンケートでは少ない傾向が見られる。(P8、P14)

(参考) 観光について

【中城御殿に関する地域団体アンケート、地域意見交換会11/15】

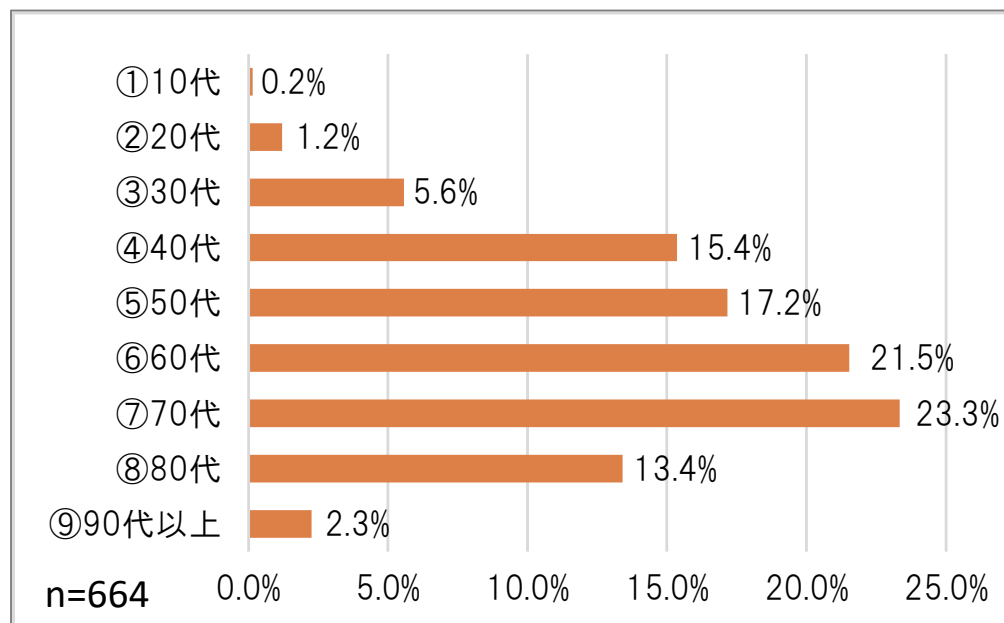
- 地域には貴重な文化資源があり活用したほうがよい。一方で、観光客が増えることで、住民の生活に支障をきたさないようにすべき（地域福祉の視点、来訪者のマナー向上など）。（参考①P42）
- 周遊のためには、拠点間の移動のあり方や人の量を十分に調査する必要がある。（参考①P46）

2.住民アンケート

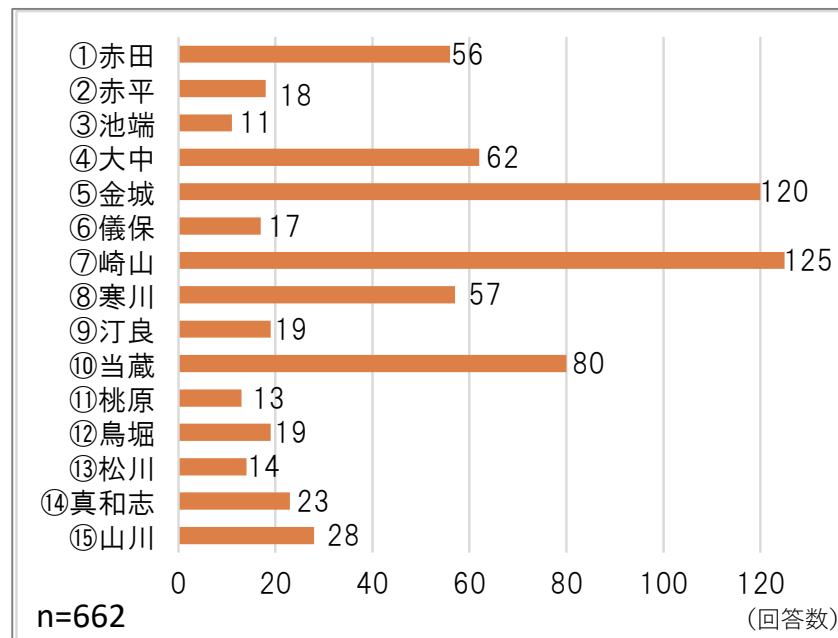
実施概要

項目	内容
対象者	首里杜地区内在住の住民2,000人
調査期間	令和3年9月24日（水）～10月8日（金）
回収数	668件（返信用封筒 575件／Web 93件）
回収率	33.4%
調査方法	地区別に人口に応じた配布数を設定し、住宅を対象にポスティング配布。回答方法は返信用封筒とWebのいずれかを選択してもらった。

①年齢



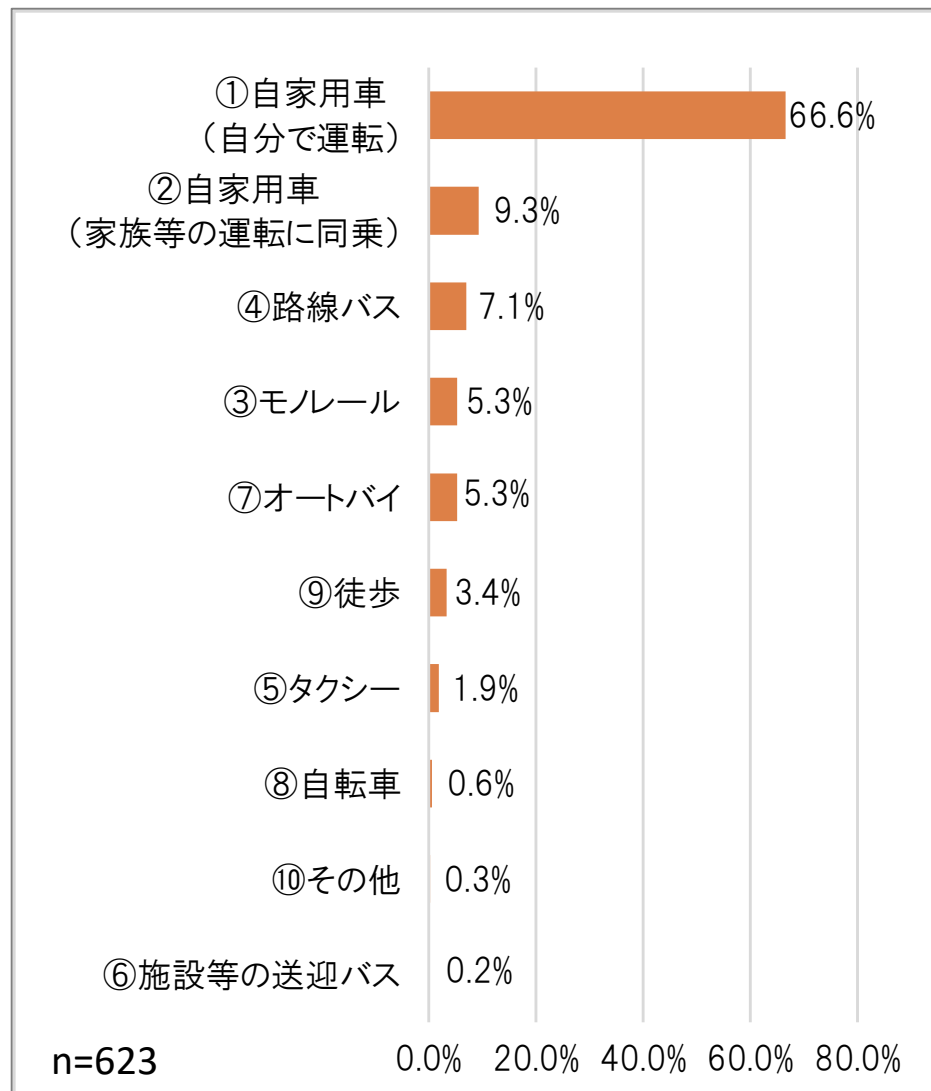
②住んでいる地域



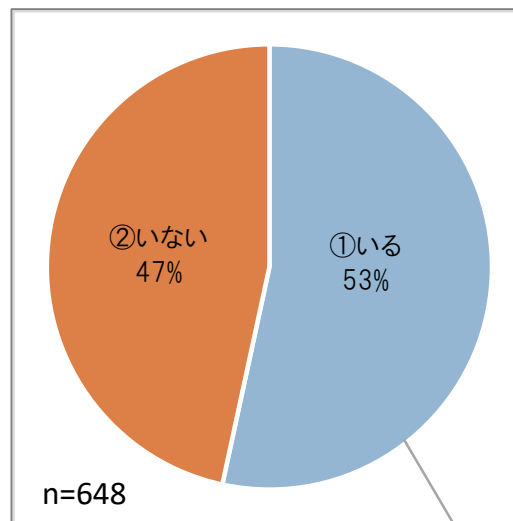
2.住民アンケート

③よく使う交通手段

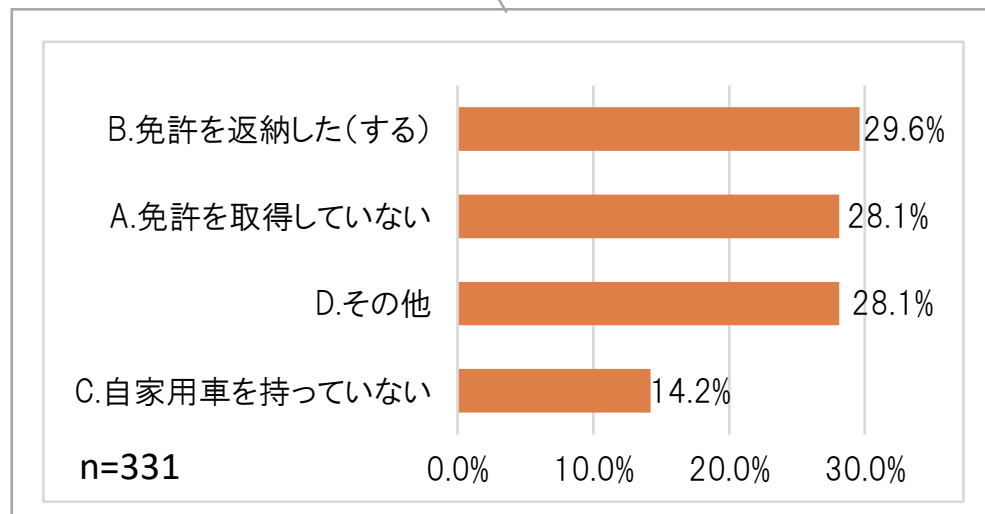
公共交通機関（モノレール、路線バス）は12.4%。



④家族に公共交通機関を必要とする人がいるか （必要な理由も合わせて）



公共交通機関が必要な理由で、免許返納が最も多い。住民の高齢化が進んでいると推測される。



2.住民アンケート

【参考】居住エリアの考え方

居住地区の地形と、交通渋滞が起こりやすい場所を考慮し、字別に4つのエリアに区分した。

A-1エリア

県道49号線の渋滞箇所を抽出したエリア

池端町、真和志町

Aエリア

首里城公園より北と首里城公園を含んだエリア

赤平町、池端町、大中町、儀保町、汀良町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町

Bエリア

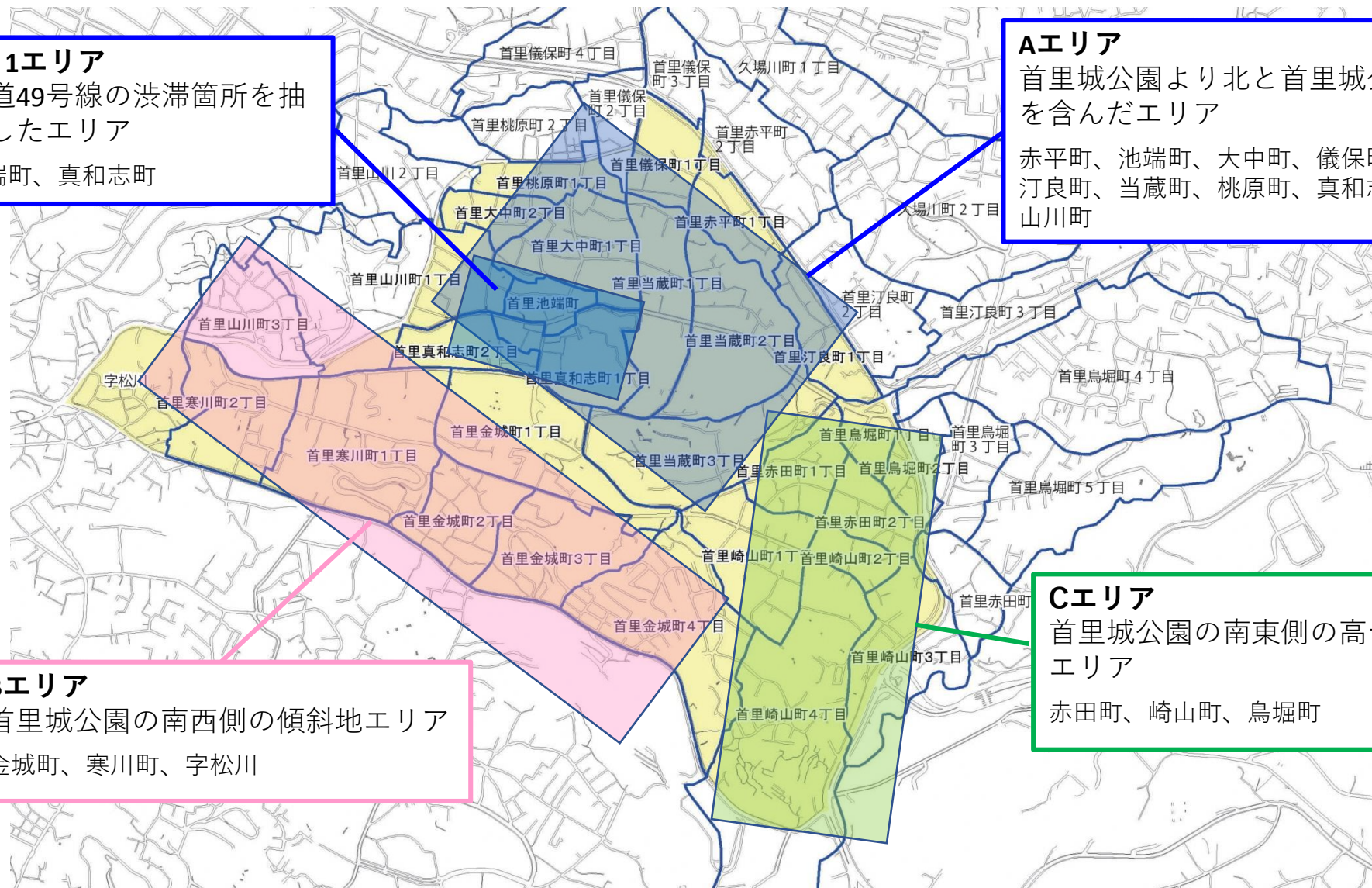
首里城公園の南西側の傾斜地エリア

金城町、寒川町、字松川

Cエリア

首里城公園の南東側の高台エリア

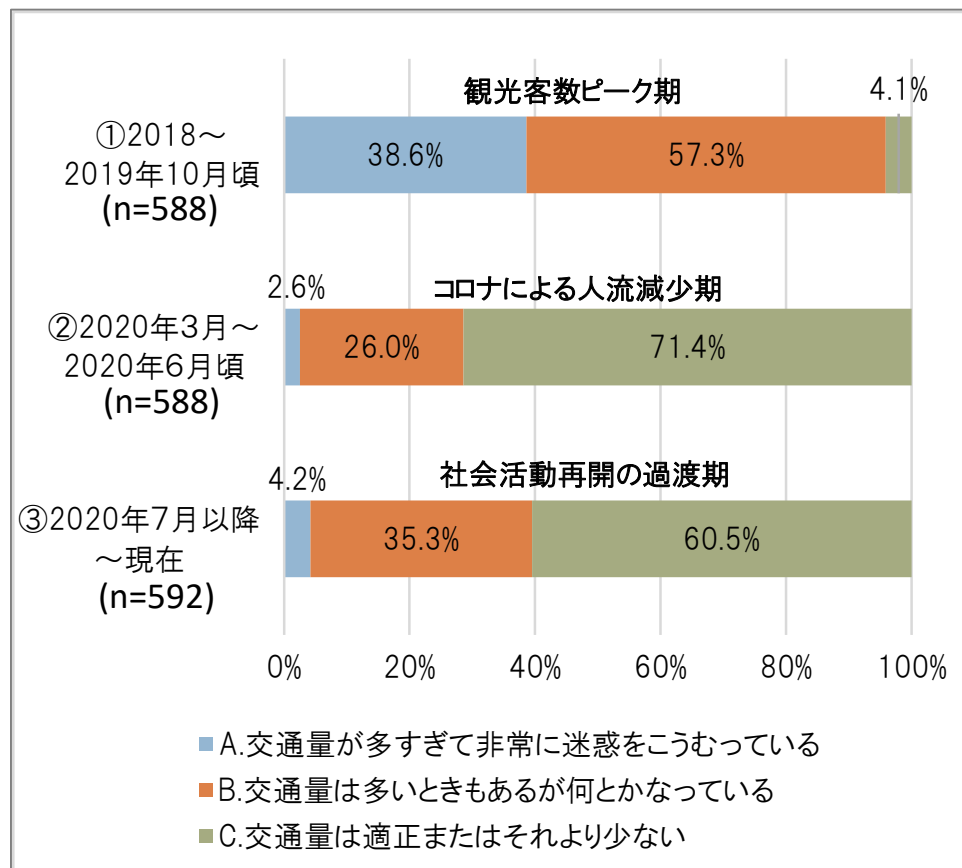
赤田町、崎山町、鳥堀町



2.住民アンケート

⑤首里杜地区の交通量の感じ方

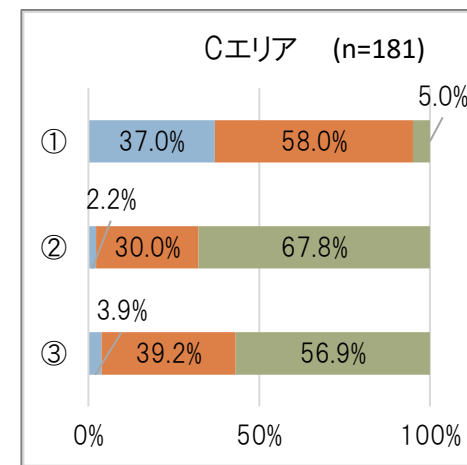
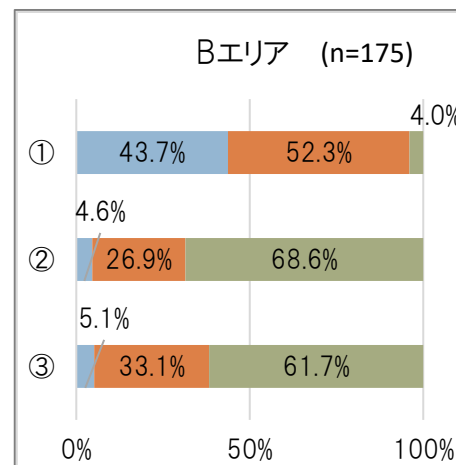
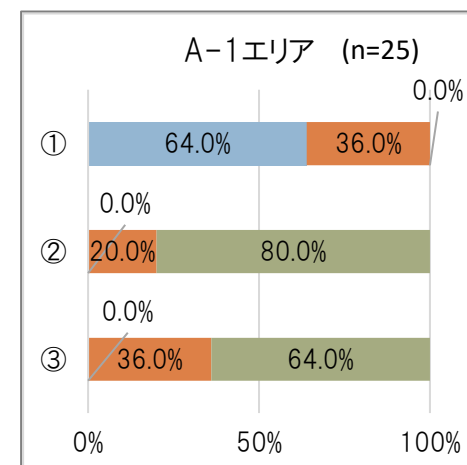
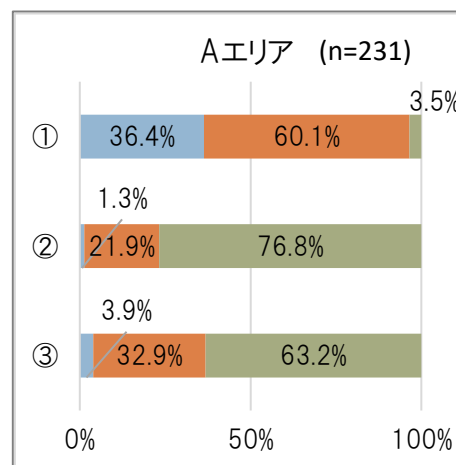
コロナ禍以後は「C.適正またはそれより少ない」と感じている人が過半数を占め、「A.非常に迷惑」は観光ピーク期に比べ激減している。



【居住エリア別】

①期に「交通量が多すぎて迷惑」と感じているのはA-1エリアが突出。一方、②③期はゼロと激減。

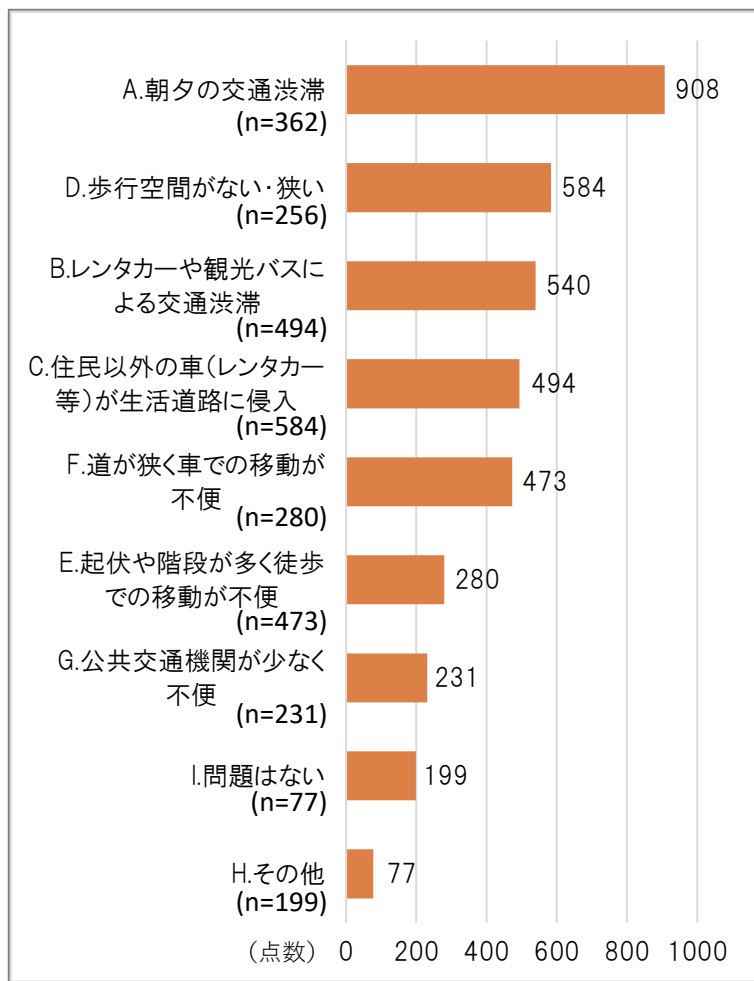
Bエリアでは②期、③期も他のエリアと比べ「交通量が多すぎて迷惑」と感じている人が多い。



2.住民アンケート

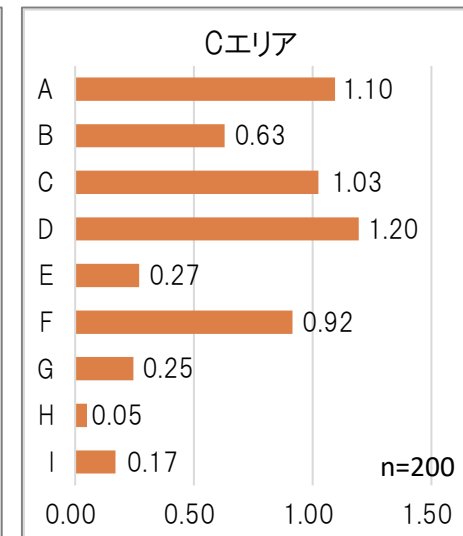
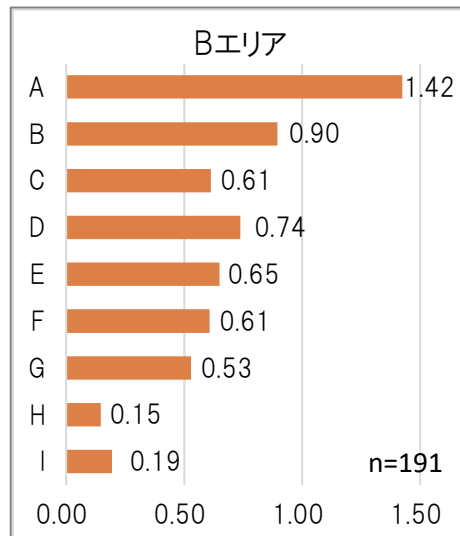
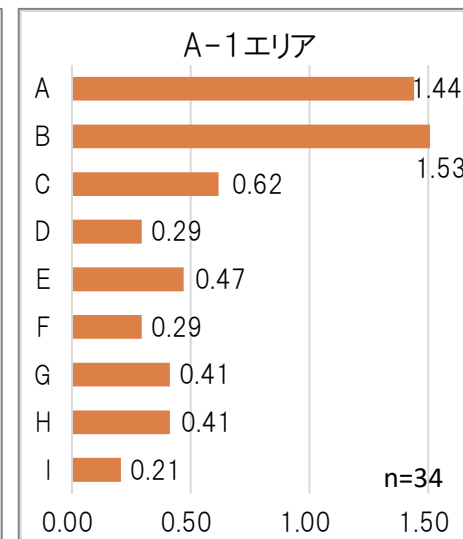
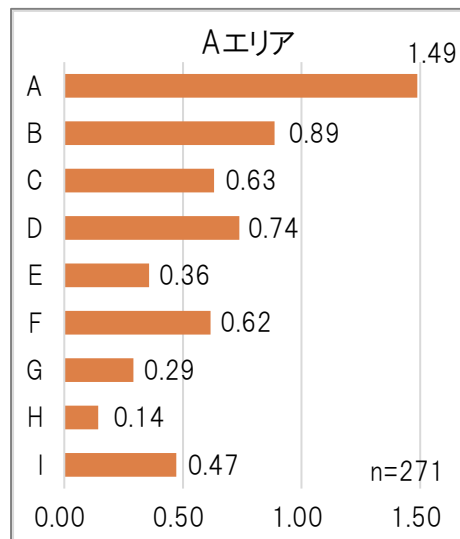
⑥首里杜地区の交通の問題

「A.朝夕の交通渋滞」「B.観光に起因する交通渋滞」が上位であり、交通渋滞への問題意識は高い。また「D.歩行空間がない・狭い」「F.道が狭く車での移動が不便」など、道路の狭さを問題視する人も多い。



【居住エリア別】

A-1エリアでは「B.観光車両による交通渋滞」、Cエリアでは「D.歩行空間がない・狭い」が上位。

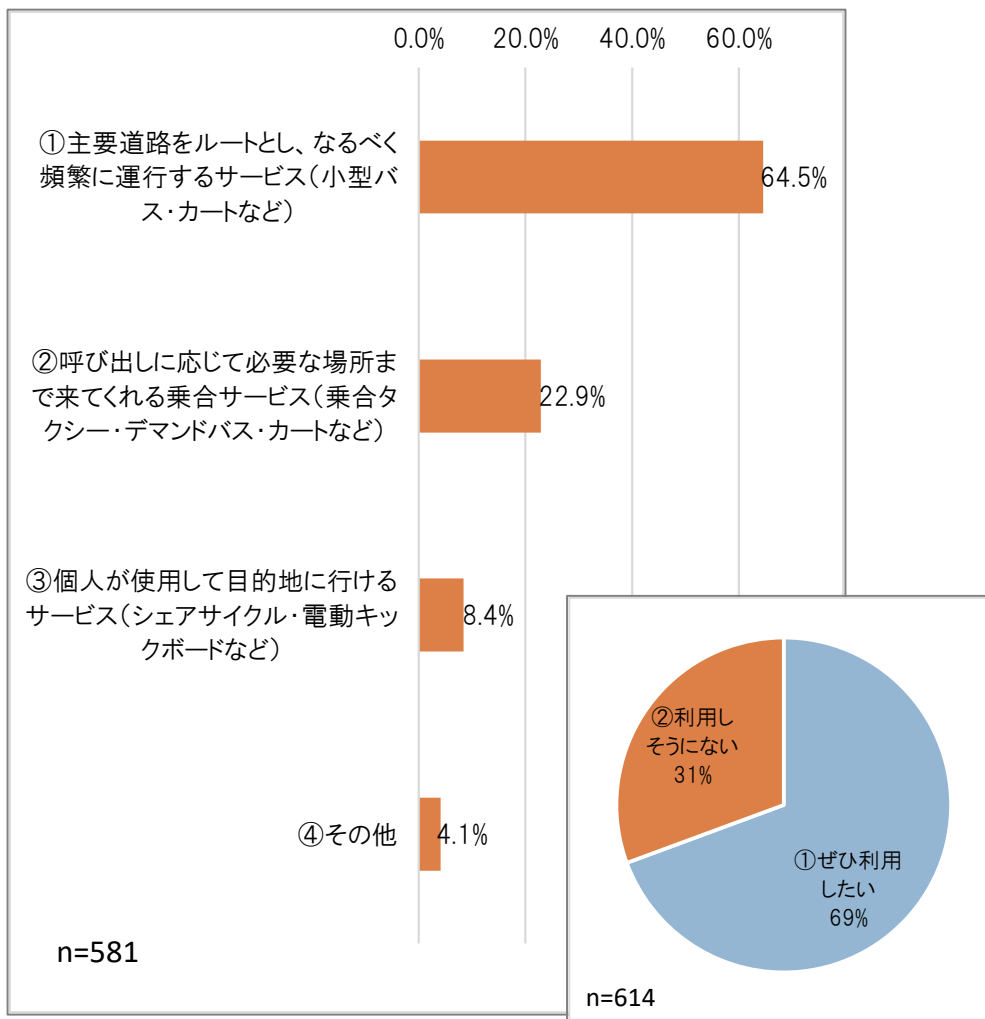


(回答者数別平均点)

2.住民アンケート

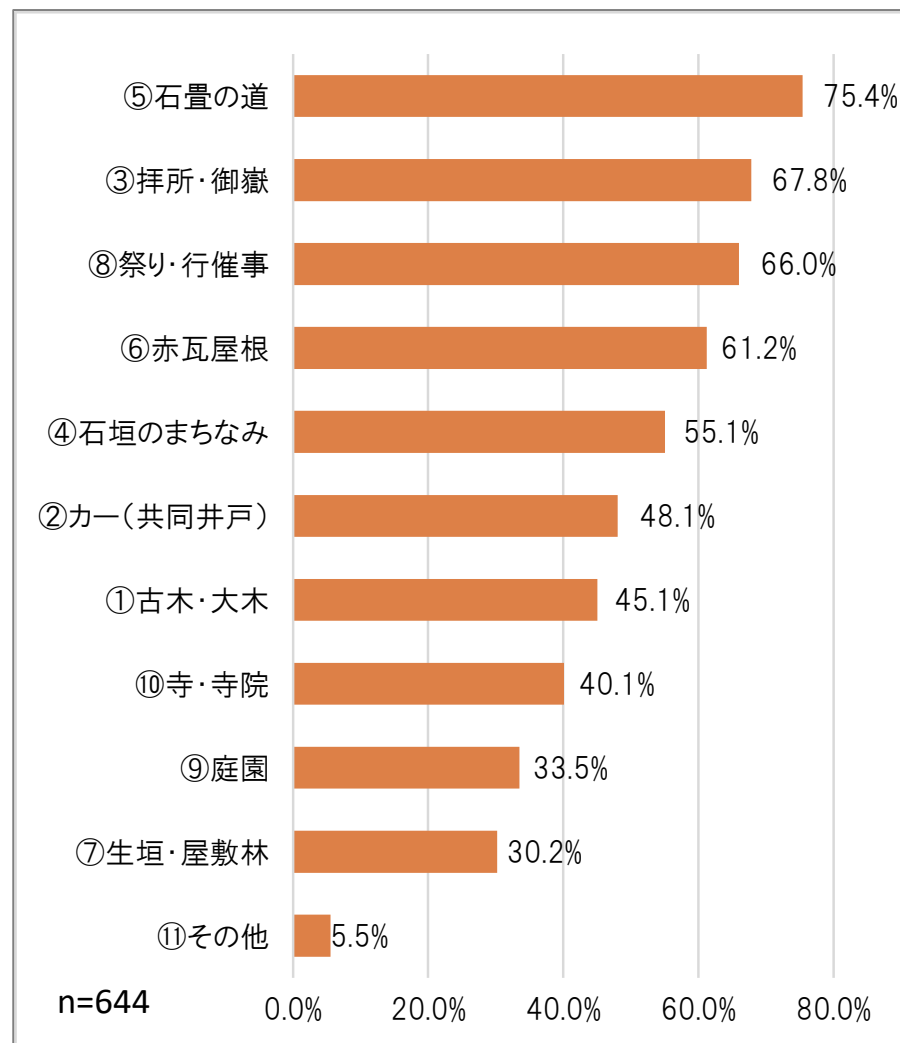
⑦導入したい新たな交通サービスと利用希望

主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行する交通サービスを求める声が多い。また、新しい交通サービス（有料）を69%が利用したいと回答。



⑧活かしたい文化資源

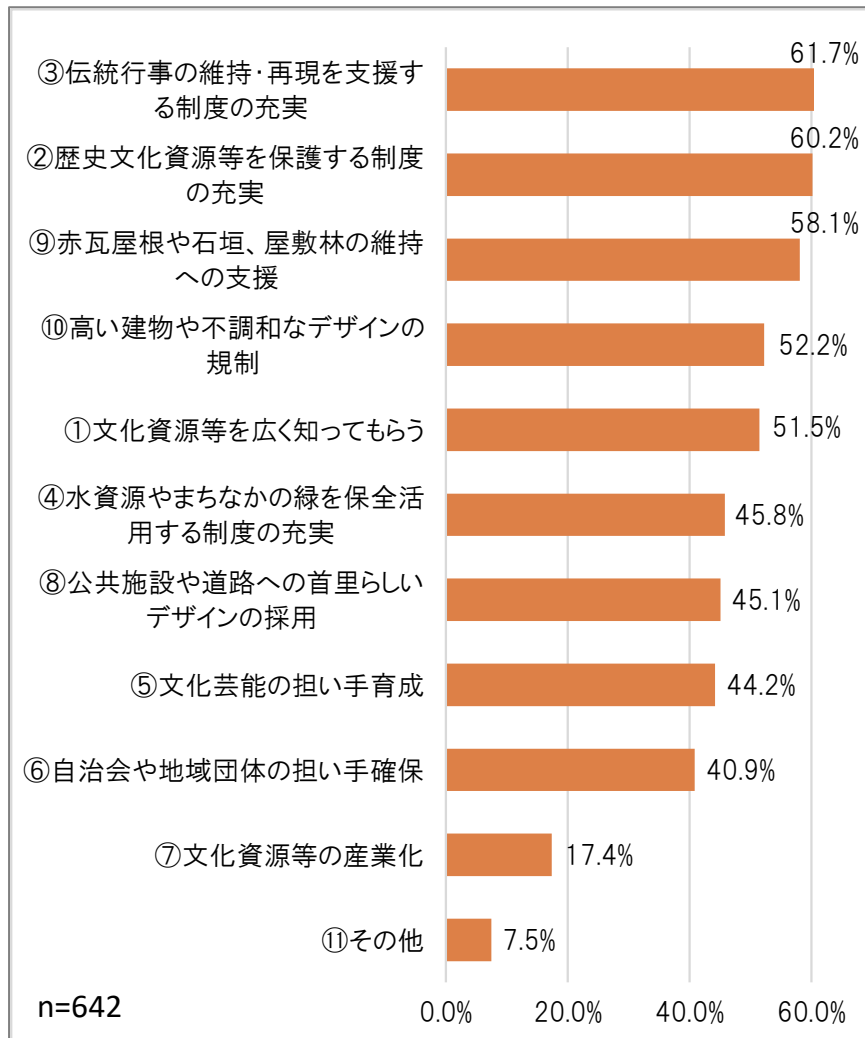
石畳や拝所・御嶽など琉球文化のレイヤーに関する資源が上位となった。



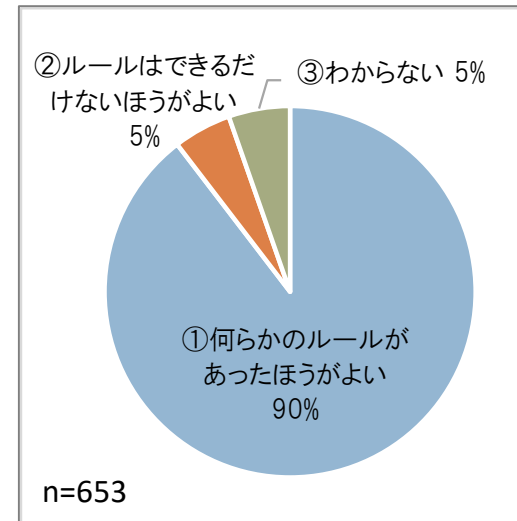
2.住民アンケート

⑨首里らしさや文化資源を受け継ぐための対策

伝統行事や歴史文化資源、赤瓦、石垣など文化資源を維持するための対策が上位となった。

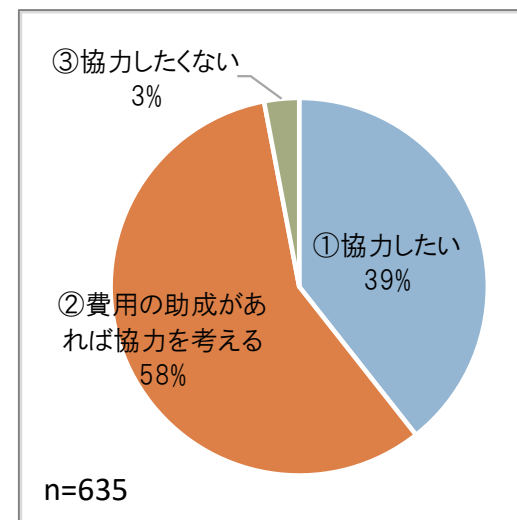


⑩首里らしい景観を守るためのルール



90%が何らかのルールがあったほうがよいと考えている。

⑪自宅改装時にルールにあった形態にするか

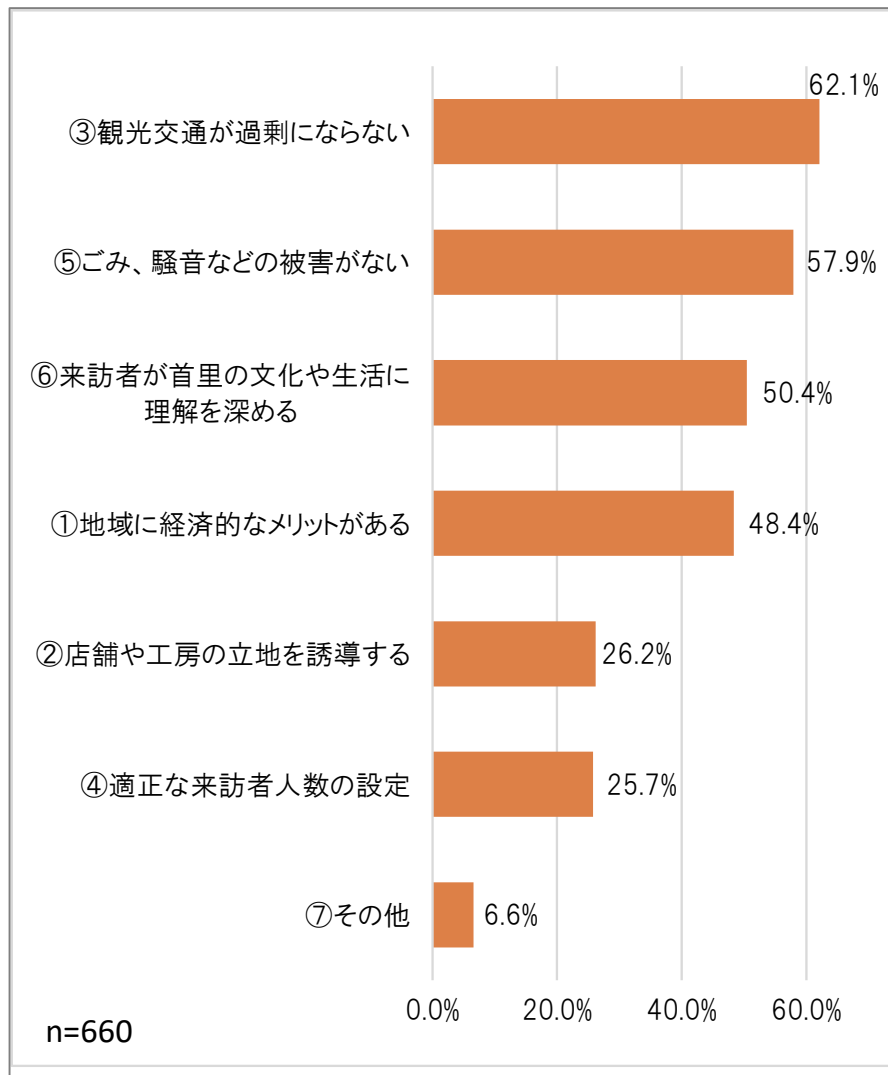


「①協力したい」「②費用助成があれば協力を考える」あわせて97%となった。

2.住民アンケート

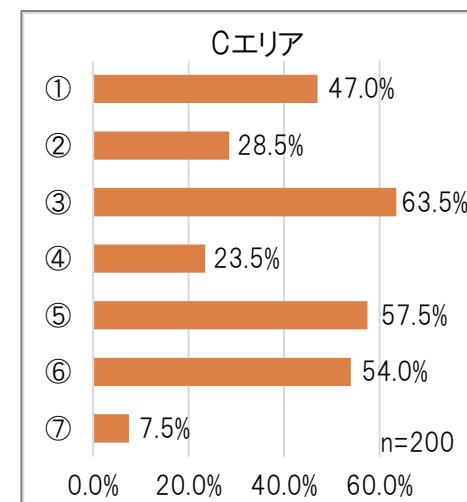
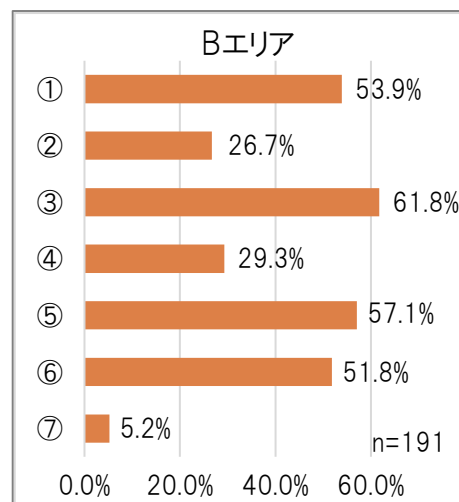
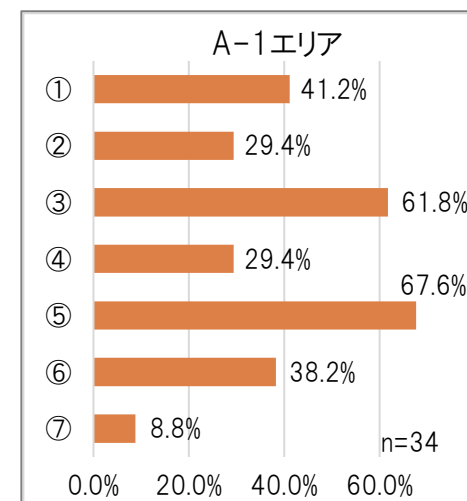
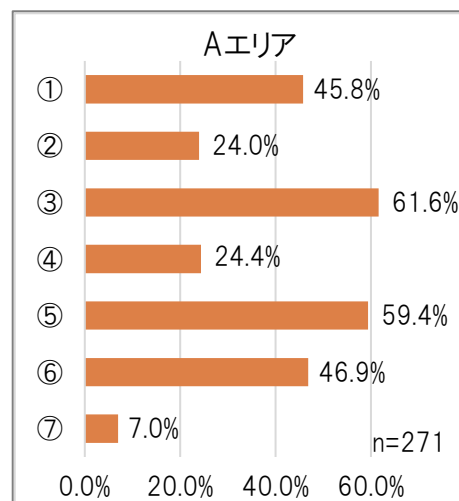
⑫観光と住民生活の両立に必要なこと

「観光交通が過剰にならない」「ごみや騒音がない」など住民生活に悪影響がでないことが上位。



【居住エリア別】

A-1エリアは「観光交通が過剰にならない」ではなく「ごみ、騒音などの被害が少ない」がトップになっている。B及びCエリアは比較的「来訪者の首里への理解」「地域への経済的メリット」への回答が他エリアよりも高い傾向がある。

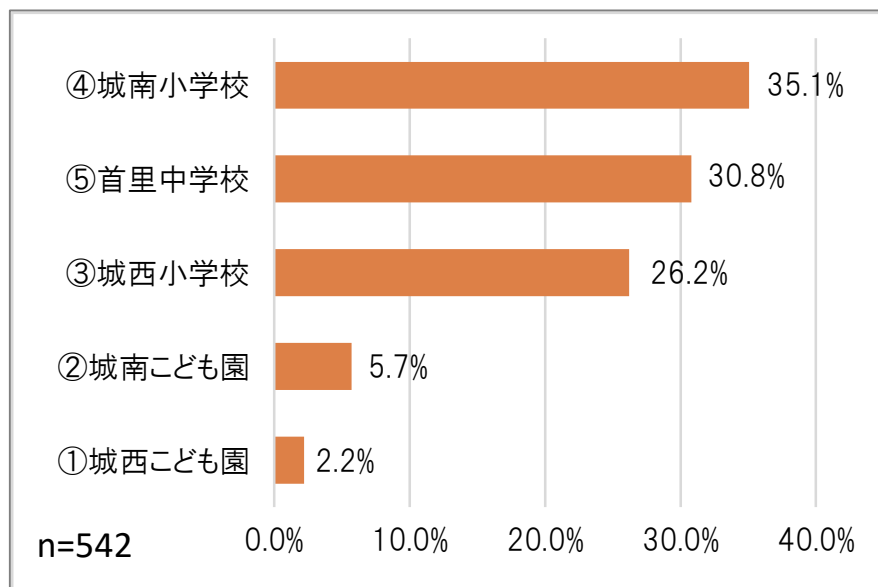


3.学校アンケート

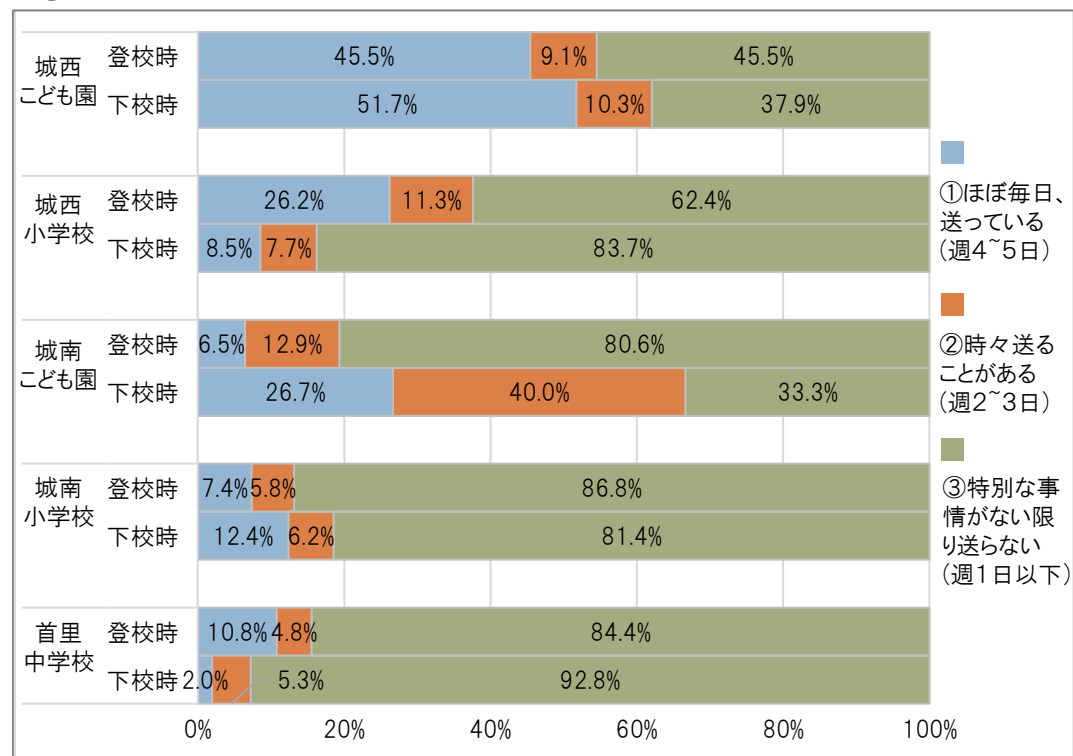
実施概要

項目	内容
対象校	城西小学校、城南こども園、城南小学校、首里中学校（4校）
調査期間	令和3年10月18日～27日
回収数	366件
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 学校やPTAに協力いただき、学内グループウェアやメーリングリストによる調査依頼、及びWebによる回収を行った。一部、調査票による回収も行った。 回答者の対象は保護者とした。

①子どもが通う学校（2人目まで回答可）



②送迎状況

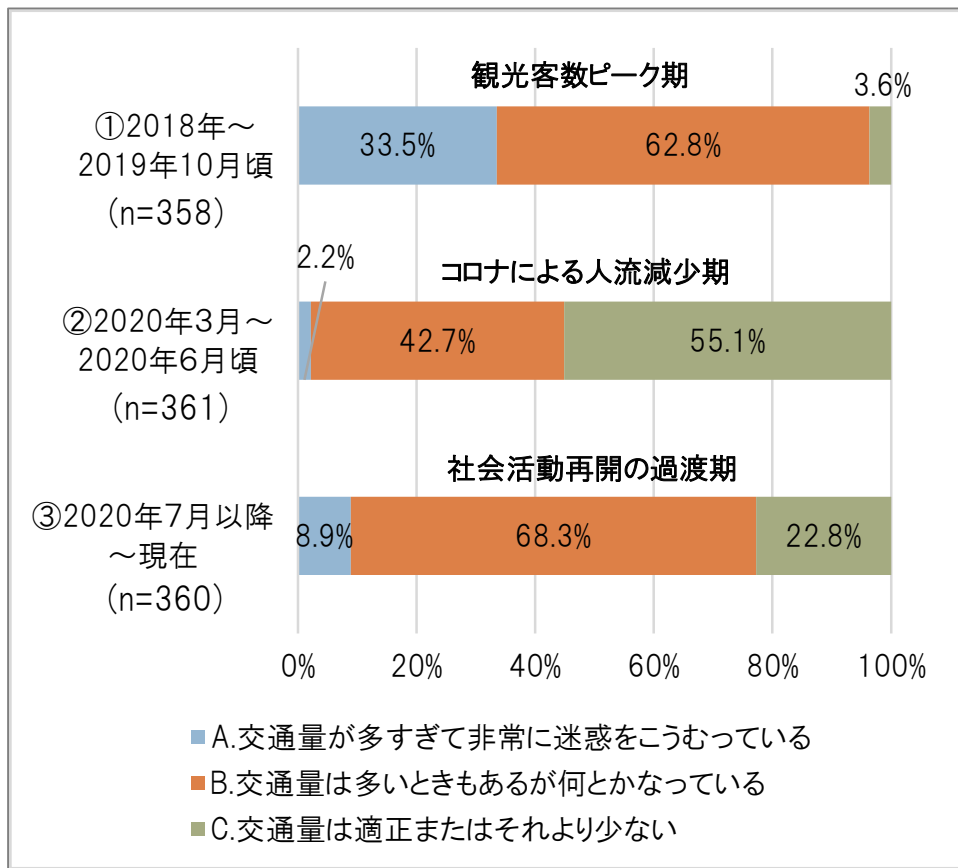


3.学校アンケート

③首里杜地区の交通量の感じ方

「交通量が多すぎて迷惑」と感じている人は、コロナ後に大幅に減少している。

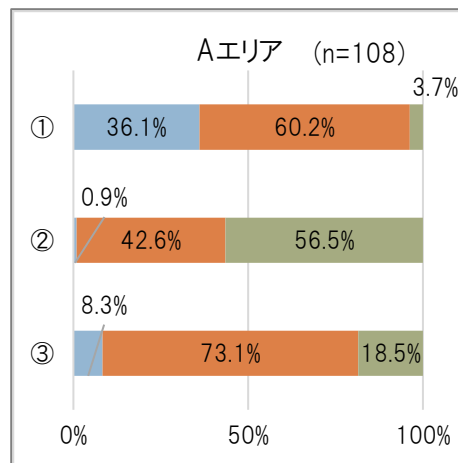
住民アンケートに比べ、②③期の「適正またはそれより少ない」の回答は低い。



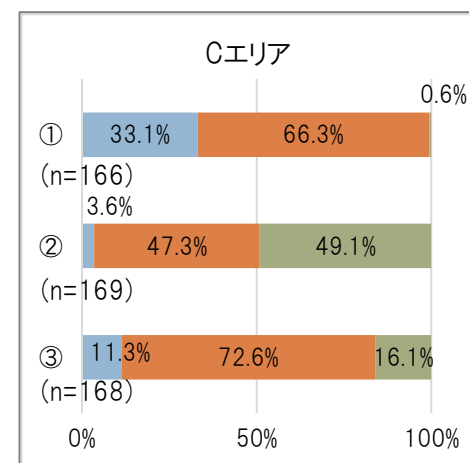
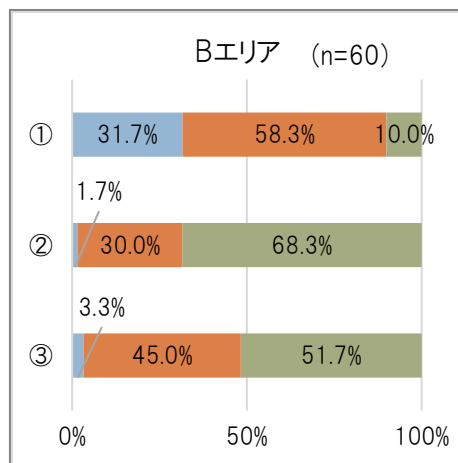
【居住エリア別】

①期に「交通量が多すぎて迷惑」と感じているのはAエリアが多い。

Cエリアでは②期、③期も他のエリアと比べ「交通量が多すぎて迷惑」と感じている人が多い。



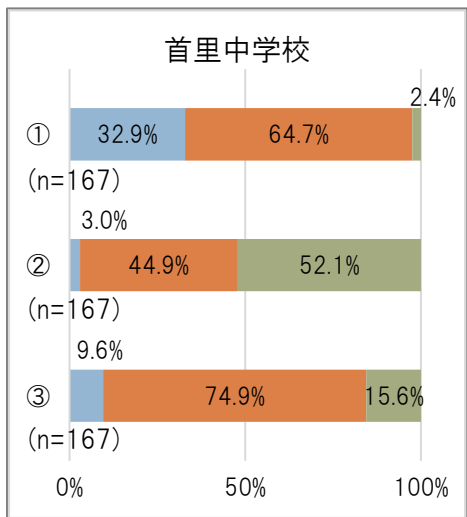
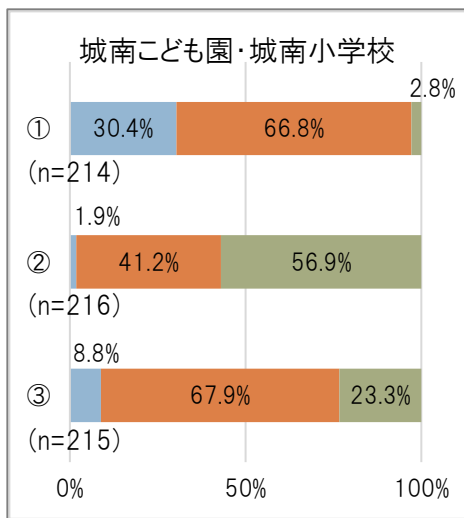
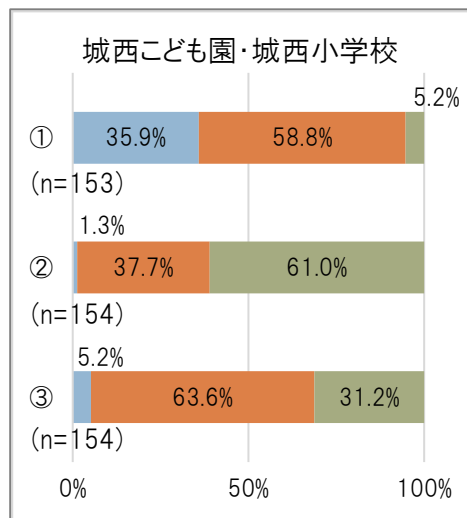
※ A-1 エリアは回答数2件のため省略。



3.学校アンケート

【学校別】

①期に「交通量が多すぎて迷惑」と感じているのは城西こども園・城西小学校が多い。



【項目】

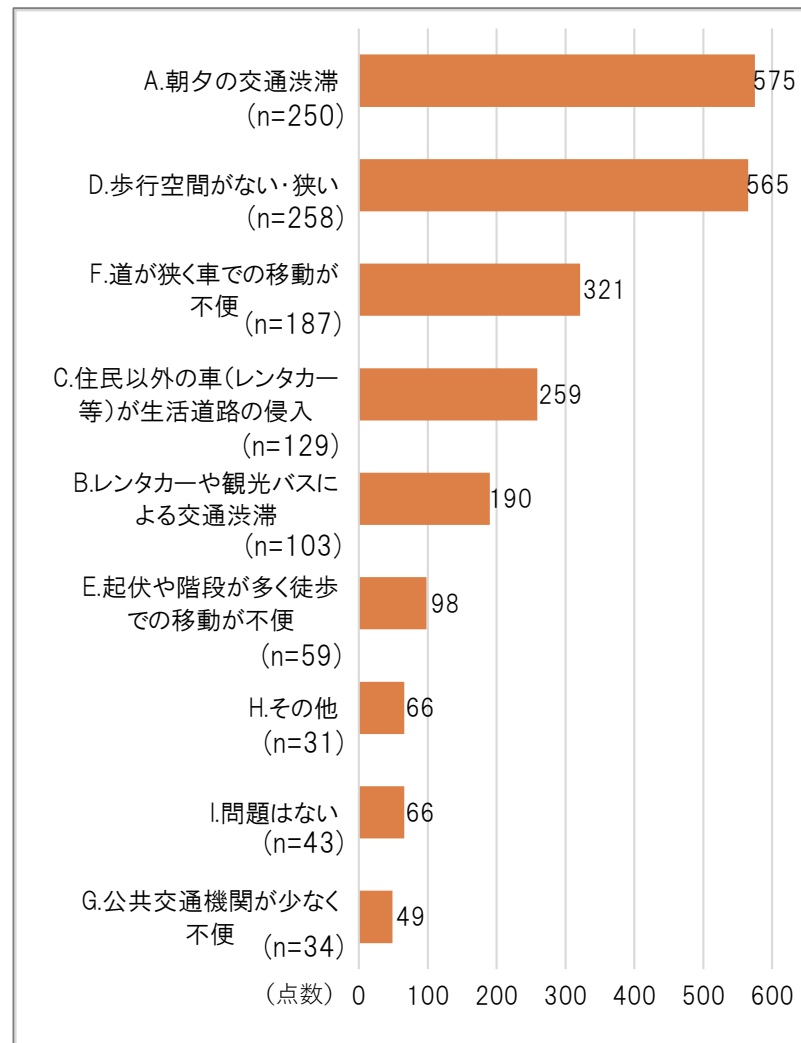
- ①2018年～2019年10月頃
観光客数ピーク期
- ②2020年3月～2020年6月頃
コロナによる人流減少期
- ③2020年7月以降～現在
社会活動再開の過渡期

【凡例】

- A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている
- B.交通量が多いときもあるが何とかなっている
- C.交通量は適正またはそれより少ない

④首里杜地区の交通の問題

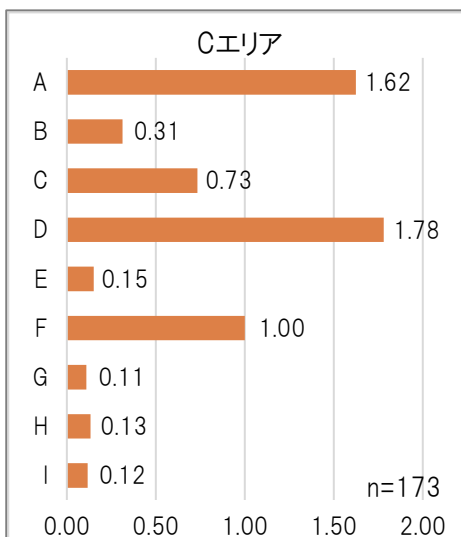
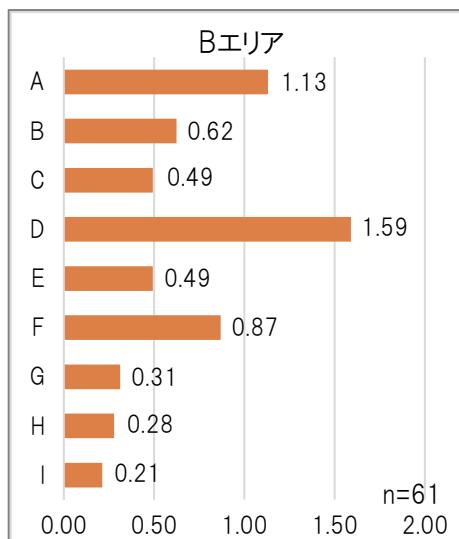
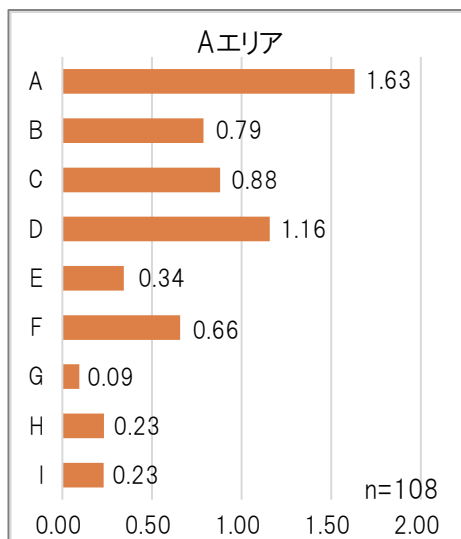
「A.朝夕の交通渋滞」が最多。「D.歩行空間がない・狭い」と「F.道が狭く車の移動が不便」など、道路環境から起こる問題も上位にある。



3.学校アンケート

【居住エリア別】交通の問題

Aエリアでは「A.朝夕の交通渋滞」、BエリアとCエリアでは「D.歩行空間がない・狭い」が多い。



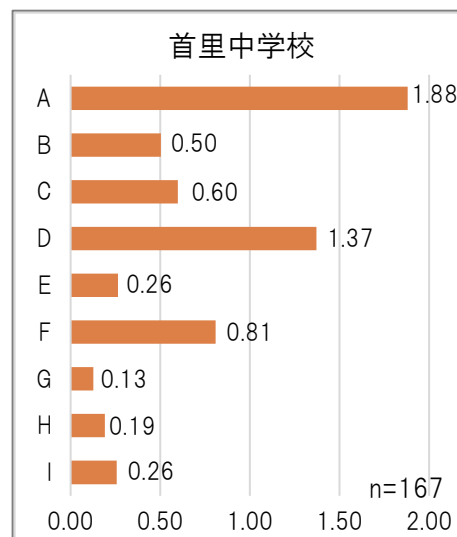
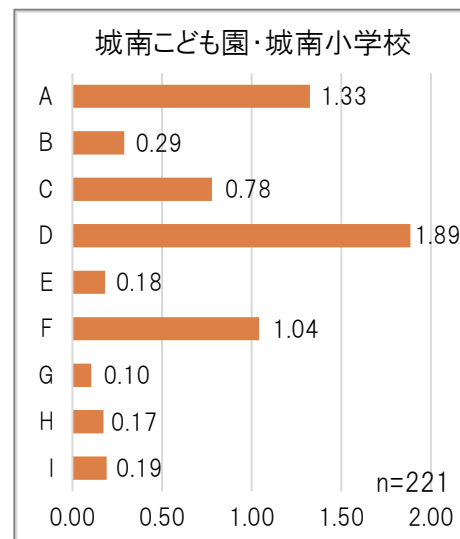
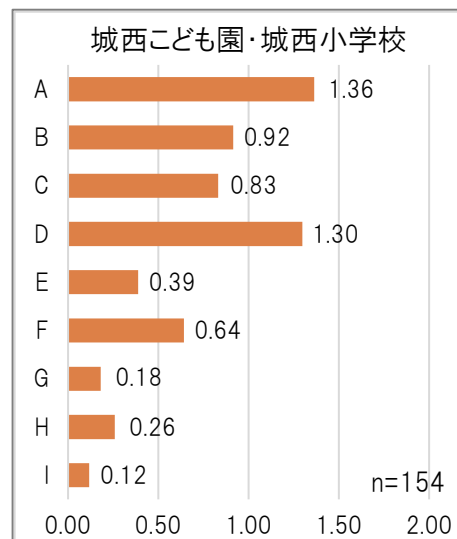
(回答者数別平均点)

【項目】

- A.朝夕の交通渋滞
- B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞
- C.住民以外の車(レンタカー等)が生活道路に侵入
- D.歩行空間がない・狭い
- E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便
- F.道が狭く車での移動が不便
- G.公共交通機関が少なく不便
- H.その他
- I.問題はない

【学校別】交通の問題

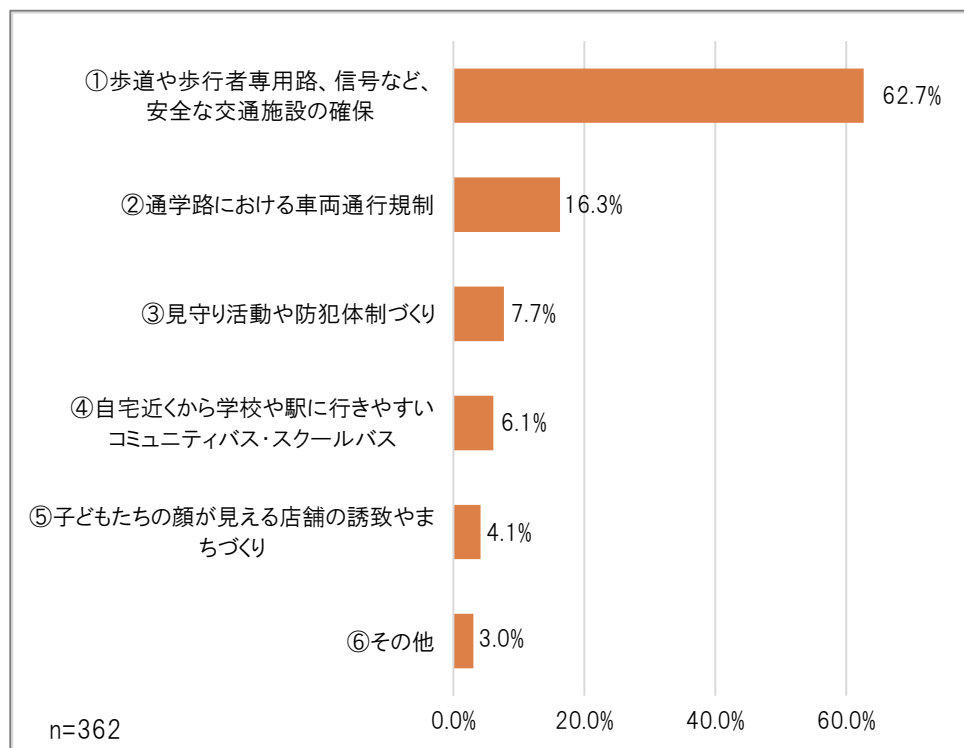
城南こども園・城南小学校では「D.歩行空間がない・狭い」が多い。



(回答者数別平均点)

3.学校アンケート

⑤歩いて通学しやすい環境で望ましいもの
歩道や歩行者専用道路、信号などの安全な交通施設の確保が最も多い。



⑥導入したい新たな交通サービスと利用希望
主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行する交通サービスを求める声が多い。また、新しい交通サービスを61.5%が利用したいと答えている。

